

OVERHANGPOWER

はみ出す力展

PRESENTED BY  
TEACHER AND STUDENTS

OVERHANGPOWER  
EXHIBITION

図工・美術の授業展  
2022

vol.4

はみ出してからが  
授業の本番

間違いも正解もなく  
枠からはみ出してもいいだなんて  
学校でそんなことを教えられるのは  
図工と美術だけじゃないか？

はみ出すのは  
結構むずかしいから

2022  
9.11—9.18  
うらわ美術館

# 枠組みから はみ出す 子どもたちの力

学校の図工・美術の授業。

誰もが受けてきたこの授業の時間は、今、子どもたちにどんな力を身に付けさせているのでしょうか？

昨年、「はみ出す力展 vol.3」として開催した「図工・美術の授業展」は、コロナ禍においても各方面からご支援ご協力をいただき、さいたま市をはじめ、県内や日本各地の小・中学校、高等学校、幼稚園・保育園・特別支援学校と教員養成に関わる大学の授業や造形活動の様子、その実践から生まれた作品を展示しました。また「オンライン作品鑑賞会」では授業実践者がオンラインでギャラリートークを行い、会期中の来場者はのべ1000人を超えました。この展覧会への関心が年々高まってきているように感じます。第4回を迎える本年度も「はみ出す力」に注目していただけるよう、様々な地域や校種の実践や作品、新しい取組の「造形実験」の広がりも紹介します。それらの授業の中で育まれる未来を拓いていく子どもたちの力を、工夫した展示を通して「はみ出す力」として考えていきます。

2018年に保育園の保育指針と幼稚園の教育要領、2020年に小学校、昨年度は中学校、そして、高等学校の学習指導要領は本年度入学の生徒から年次進行で実施となりました。

今回の改訂の背景には、これからの予測困難な時代において、2030年の社会を生きる子どもたち一人一人が、社会の変化に対応し、未来の創り手となることへの期待があります。

本展覧会「はみ出す力展 vol.4」では、造形活動を通して「常識にとらわれず、既存の枠組みからはみ出し、未来に向かって飛び出すエネルギー」を、子どもたちがたくましく未来を拓くイノベーションにつながる力であるととらえ、「はみ出す力展」として第4回目の展示に臨みます。



# はみ 出す力 展

2022 9.11(日) - 9.18(日)

10:00 - 17:00 9.12(月) 閉館  
入場は閉館の30分前まで

オンライン  
鑑賞会

9月17日(土)  
14:00 - 16:00



ワーク  
ショップ

協賛企業による  
「図工・美術の授業を考える」

日時

9月11日(日)

- ①東亞合成株式会社 10:00~11:00~
- ②マルマン株式会社 13:00~14:00~

9月18日(日)

- ①日本理化学工業株式会社 10:00~11:00~
- ②株式会社 G-too 13:00~14:00~

詳細  
申し込みは  
QRコード  
から



場所

レンタルスペース ONVO  
サロンうらわ(うらわ美術館斜向かい)

## うらわ美術館 展示室A

〒330-0062

埼玉県さいたま市浦和区仲町2丁目5番1号 浦和センチュリーシティ3階

Tel 048-827-3215 Fax 048-834-4327

<https://www.city.saitama.jp/urawa-art-museum/>

### 交通案内

<電車利用> JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線、湘南新宿ライン、上野東京ラインで浦和駅下車。西口から徒歩7分。

<車利用> 東北自動車道(浦和出口から9km)、首都高5号池袋線・埼玉大宮線(浦和南出口から4km)、外環自動車道(三郷方面より外環浦和出口から5km、大泉方面より戸田西出口から7km)。当ビル地下に公営駐車場(有料)があります。

主催 さいたま市教育研究会 図工・美術部  
共催 武蔵野沿線美術教育実践学習会「び会」  
後援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会

その他 本展は観覧料無料  
問い合わせ先 埼玉大学教育学部附属中学校  
美術科 小西 悟士 3104smallwest@gmail.com